

社会資本総合整備計画

甲府駅へのアクセス向上を推進する都市再生区画整理事業

平成30年1月

山梨県 甲府市

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

計画の名称	甲府駅へのアクセス向上を推進する都市再生区画整理事業												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	甲府市												
計画の目標	甲府駅周辺土地区画整理事業及び甲府駅南口整備計画により一体的に勤めているアクセス道路の整備の推進に合わせて、拠点の市街地生成重点地区整備にふさわしい都市再生区画整理事業を導入し、歩行者、自動車等のネットワークを確立し、甲府駅利用者の利便性の向上と駅周辺の安全・安心で快適な都市空間の創出を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,916	A	2,916	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	甲府駅南口へのアクセス性の向上。 H27年度道路交通センサスを基に平均旅行速度の向上を目指す。	H30 10Km/h	Km/h	H34 14Km/h
2	市民意向調査における「道路の整備が進められている」の実感度の向上を目指す。 H28年度実施の甲府市市民実感度調査による「道路の整備が進められている」の実感度(満足度)を270ポイントから275ポイントへの向上を目指す。	270ポイント	ポイント	275ポイント
3	朝日町通り線の整備により、現状の渋滞の緩和を図る。 甲府駅南通り線及び宝二丁目北新線の整備と一体的に朝日町通り線の整備を進めることで、朝日町通り線の旅行速度の向上と渋滞緩和を目指す。	200m	m	140m

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

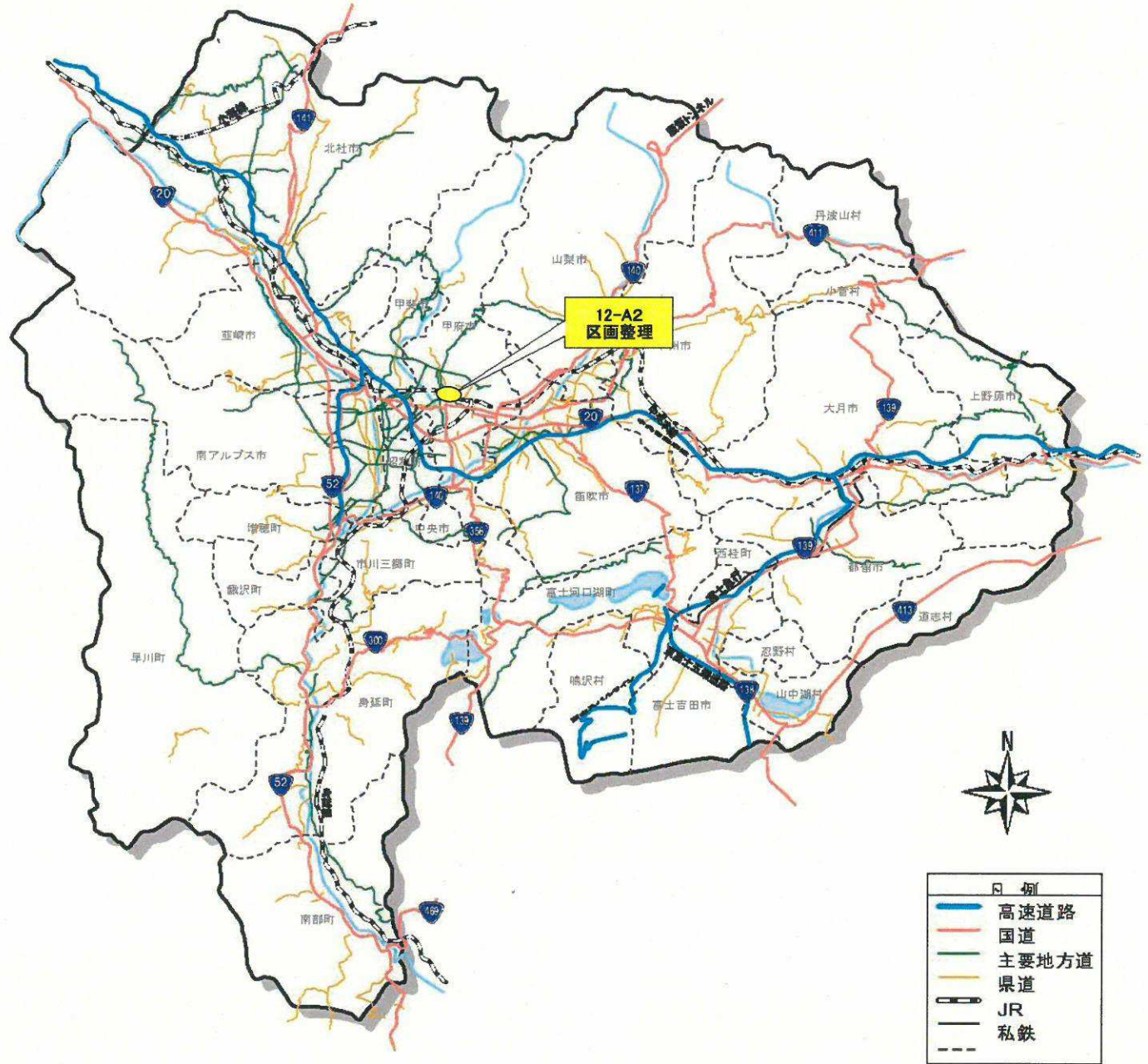
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	
配分額 (a)	553	50	70	60	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	553	50	70	60	
前年度からの繰越額 (d)	0	432	110	44	
支払済額 (e)	121	372	136	65	
翌年度繰越額 (f)	432	110	44	39	
うち未契約繰越額(g)	320	21	44	1	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	57.86	4.35	24.44	0.96	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	補償処理の困難		補償処理の困難		

(参考様式3) 参考図面

計画の名称	甲府駅へのアクセス向上を推進する都市再生区画整理事業		
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5年間)	交付対象	山梨県 甲府市



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：甲府駅へのアクセス向上を推進する都市再生区画整理事業

事業主体名：甲府市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係	
1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○